

「**ま**いたに」と「**め**ふ」をつなぐ、米谷自治会広報誌

マメダヨリ

【予告】

**防災フェスタ2019
開催決定！**

No.23/2019 春号

近隣4自治会 共同開催

米谷自治会

宝塚売布住宅自治会

売布園住宅自治会

ピピアめふ2自治会



一斉清掃が
終わった後は!

今年の「マメダヨリ防災フェスタ2019」は
近隣の4つの自治会が一丸となり、さらにパワーアップ!
「いざ」という時に慌てないために、
防災訓練を兼ねた体験型イベントで、
みんなで楽しく「防災・減災」について学びましょう。
一斉清掃で街が美しくなったその後に、
ご家族・ご近所さん皆さんでお越しください。

参加者全員に
防災グッズを
プレゼント!

消防車
展示

※写真はすべて昨年の様子です

マメダヨリ

防災 フェスタ 2019

開催決定!

5月19日(日)

AM 9:30~ 受付開始

AM10:00~ 訓練開始(正午頃まで)

雨天
決行



中国道高架下公園

(例年、盆踊り会場となっている所です)



米谷の語り部

和田家第13代当主 和田 正宣さん



今回は旧和田家住宅の旧所蔵者で、和田家13
代目当主の和田正宣さんにお話を伺いました。和
田さんは、ご自身が平成7年(1995年)の阪神淡
路大震災の直後まで暮らした旧和田家住宅(和田
邸)で、2006年~2018年までの12年間「寺子屋」
と称して『古文書の読み聞かせ』を行っていました。
宝塚市内はもとより、各地から歴史ファンが集まり、
宝塚の近世・近代史への想いを馳せていました。

今年、数えて卒寿の和田さんのお話はとても魅
力的。単に歴史を語るだけではなく、まるでその時
代を実際に目の当たりにしてきたような、独特の
語り口調にぐいぐいと引き込まれていくのです。

明治以降、和田家は波乱に満ちた歴史を歩み
ます。明治18年(1885年)、祖父にあたる11代目の
キリスト教への改宗。まだまだ封建的な考えが優勢
な時代、それまでの「庄屋」としての威厳を失い、村

人たちからは「^{やそ}耶蘇(中国語でイエスの意)」と言わ
れ、疎まれてしまいます。秋祭りの日には土塀を鯨
幕で覆われてしまうほど。「小学生の頃、だんじりを
近くで見たかったんやけどな。近寄らせてもらえん
かった。」と寂しかった少年時代を語ってください
ました。その後、村人との確執はなくなったものの、
激動の時代へ。戦争や高度経済成長期を駆け抜け、
そして平成7年の阪神淡路大震災…。

ご存じの通り、宝塚も大きな被害を受けました。
和田邸も半壊状態で、同年3月31日をもって解体
が決まっていたそうです。それを県の職員の方が
慌てて止め、文化庁に掛け合い、解体を免れました。
翌年宝塚市は有形文化財として指定。条件として
建物と土地を市に寄附する事になりました。(急遽、
今のお住まいを購入されたそうです。)

今後は近い将来、中央図書館で『古文書を読む



**当日は宝塚東消防署にもご協力いただき、
役員および防災士もお手伝いします。**

※内容は都合により変更になる場合があります。予めご了承ください。
※詳細は、後日回覧および掲示板にてお知らせします。

防災 スピーカー

の話



宝塚市では、防災行政無線(すみれ防災スピーカー)の設置を市内約40カ所で進めています。(「広報 たからづか」より)。当地区でも、売布小学校の屋上に2019年度末までに整備する予定です。これは、地震や台風などの自然災害に加え、ミサイル発射情報などの緊急情報を住民に伝達するもので、全国の自治体でも活用されています。

一方、米谷会館の屋上にも、ほとんど利用されていなかった小さなスピーカーが四方に向けて設置されています。テストしてみたところ、音量は小さく、老朽化によるホーンの劣化・破損もあり、実用性に乏しい状態でした。そこで今回、実用化に向け機材を一新することを検討。完成すれば、設備の点検と訓練を兼ねて、防災フェスタや盆踊りなどのイベント時の案内放送などに活用できるほか、**本番には予備避難所として、近隣エリアに密着したタイムリーな情報を発信することができます。**(もちろん、ない方が良いのですが!!)

なお、防災スピーカーは、あくまで戸外にいる人への音による情報伝達の手段であって、特に大雨時や窓を閉め切った室内では聞こえづらいそうです。「広報 たからづか」によると「すみれ防災スピーカーでの放送と同じ内容のものをFM宝塚(83.5MHz)でも流すようにしていく」とのこと。メディアが増え進化した今日でも、『**音によるシンプルな設備**』も**災害時の情報伝達手段のひとつ**として、最低限確保しておこう、というのが米谷自治会自主防災会の考えです。

会(寺子屋)』を再開されるそうです。また、旧和田家住宅も、「単なる歴史資料館としてではなく、当時の暮らしを体験できるような所になるといいなあ。あと、寺子屋で学んだ人たちが、歴史を語り継いでくれたらいいなあ。」と夢を語っておられました。



宝塚市内最古の民家遺構の一つとされている「旧和田家住宅」。多くの古文書や古道具が保管されている。建築は江戸中期頃といわれているが、寛永10年(1633年)の私文書も見つかっていることから、江戸時代初期より続く名家であることが推測される。



『再生資源』は、 子供会の回収日に!!

米谷自治会と
子供会からの
お願い

米谷自治会のエリアには以下の3つの子供会があり、運営資金の一部に当てるため、独自に月2回資源ごみを回収し、収益を得ています。ご協力いただいている皆様には改めて御礼申し上げます。

- ラビット子供会(米谷1丁目)
- ラッキー子供会(米谷2丁目)
- わかば子供会(売布2、4丁目の一部、売布3丁目)

(宝塚市の資源ごみ回収とは別に子供会独自の活動での回収のため、回収日や回収場所、回収の対象などは宝塚市発行の「ごみの日カレンダー」とは異なります。)

ただ、この活動があまり周知されておらず、十分な収益を上げられていないのが実情です。自治会としても、間接的にでも子供会を支援できればとの思いで、改めて皆様方のご協力をお願いする次第です。

各子供会の資源回収日は、自治会から配布する「ごみカレンダー」に来年度から(平成31年4月から)記載することとしました。回収場所や対象など詳細は、回覧板での資料配布や米谷自治会の掲示板、同ホームページ(<http://maitani.org/>)にてお知らせいたします。皆様のご理解とご協力を重ねてお願いいたします。

1/19^土

新春恒例 お楽しみ会「ニッポンのお正月」

松の内の賑わいも過ぎた1月19日、お楽しみ会「ニッポンのお正月」が開催されました。今回は「落語」「マジック」「詩吟」の3本立て。80余名の方にお集まりいただきました。

落語では池田家真砂さんの創作落語「MYロボット時代」と天満家夢造さんの「鉄砲勇助」が演じられました。寄席会場ならではの空気感や観客席との掛け合いなど、テレビでは味わえない新鮮な感動がありました。



続いて宝塚シニアマジッククラブの皆さんによる手品では、色とりどりのカードや花束が飛び出し華やかな雰囲気。最前席に座っていた女の子が真剣な眼差しで見つめていましたが突然ニッコリ。どうやらトリックを見破ったのではないのでしょうか。

そして最後は新大阪岳風会の皆さんによる詩吟の披露。演者の皆さんの腹の底からの声、姿勢の良さには驚きでした。観客の皆さん



も一緒に歌った、小林一茶の「是れがまあ」では初めて「詩吟」を体験された方も多かったのではないかと思います。

自治会では今後も色々な企画を考えています。ぜひ、お気軽にご参加ください。



横断旗設置について(2018年12月末～)

売布2丁目の点滅信号が昨年11月に撤去されました。横断歩道ができたとはいえ、交通量からして、近隣住民、特に学童の通学時の危険度は増してしまいました。そこで自治会の目指す課題のひとつ「地域内のあらゆる面での安全確保」として、横断旗を市役所から譲り受け、12月末にこの場所に取付けました。黒の艶消し塗装を施した背板は黄色の横断旗とよくマッチしています。この設置に当たり、良雄様のご厚意により塀の一部をお借りしております。

区域内には他にも子供会が設置した横断旗があります。現地を通る時には大いに利用されることを願っています。



編集後記

今号が平成最後の「マメダヨリ」です。さあ、いよいよ新しい元号が始まります。編集後記も新メンバーにバトンを渡します。創刊号より23回、長らくお付き合い頂きまして有り難うございました。今後も益々の発展をお祈りし、筆を置きます。(編集長／横山)

米寿会だより

11/20^火

第49回

宝塚市老人福祉大会

式典は宝塚ホテル宝寿の間で2部構成で開催されました。第1部の表彰式では、長年に渡り老人クラブの育成・向上に成果を上げられた個人11名と、老人クラブの模範となる活動をされた1団体が表彰されました。

第2部の芸能大会では27組が出演。ここ数年連続出演の我ら米寿会も、昭和の香り漂う「百年櫻」に合わせて踊りを披露しました。

特に男性が大きな団扇をかざして一体となって踊る様には拍手喝采でした。



子ども会だより

12/25^火

わかば子ども会のクリスマス会



今年のクリスマス会は子供14名、大人7名の合計21名が参加しました。

全員で宅配のお弁当を食べた後、2チームに分かれてのゲーム大会。「わっかリレー」や「歩数計マラソン」等で白熱しました。そしていよいよお楽しみのビンゴタイムでは「ビンゴ、シュート!」の掛け声で大盛り上がり。全員に景品が当たり、お持ち帰りのおやつも配られ、みんな満足気に帰っていきました。

保護者の皆様のご協力のおかげでスムーズに進行し、とても充実した一日になりました。

